

第5学年 国語科学習指導案

平成19年6月18日（月）

指導者 教諭 寺島 元子

活動場所 5年生教室

- 1 単元名 「意見を交流しよう」
～保育園との交流計画を立てよう～

2 児童と単元

(1) 児童の実態 (略)

(2) 単元について

高学年となり、全校の中で6年生と一緒に学校をリードする場面が多くなってきた。友達との意見交流を通して、よりよい考えに気づき、実践しようとする態度も、少しずつ育ってきている。また、話し合いをまとめたり記録を書いたりするなど、責任をもって活動する機会が、今後は増えてくるだろう。

そこで、本単元では、目的意識をもち、相手に分かりやすく話したり、相手の意図と比べながら聞いたりする力と、話題に沿って計画的に話し合う力を育てることをねらいとする。

高学年の子どもに「話す・聞く」力を身に付けさせるためには、子どもが表現したいという強い思いをもつことができるような議題で話し合い活動を行うことが有効である。

また、5年生は優しく、人の役に立つことが好きな子どもたちである。保育園の恩師から「来年1年生となる園児が安心して入学を迎えられるように、来年6年生となる皆さんの力を貸してほしい」と依頼されれば、はりきって交流計画を立てるだろうと予想される。そこで、本単元で「保育園との交流計画」を設定することは、子どもにとってやりがいのある課題となり、意欲的な意見交流から「話す・聞く」力の育成を図ることができると思う。さらに、来春入学予定園児のために、自分たちに何ができるかを考え、話し合い、交流する中で、来年度の新1年生との触れ合いを深めながら、最上級生となることへの自覚をうながし期待を膨らませていきたい。

話し合い活動は、

- ・ 提案→「～がいいと思います。理由は～です。」(提案に対する理由付け)
- ・ →「～がいいと思います。例えば～などです。」(提案に対する例示)
- ・ 意見→「Aさんの意見に賛成(反対)です。理由は～です。」(立場を明確にする)
- ・ 質問→「Bさんに質問です。～ですか？」(よく聞き不明な点などを質問する。)

という基本的な話型を実践する場となる。この内容は、当校の学習スキル【話す・聞く：5年生】の中に位置づけられており、伝え合う力を支える基礎的・基本的な学力の育成を図るために有効である。したがって、研修テーマ「自分の考えや感じ方を大切にし、お互いに伝え合おうとする子どもの育成」の具現に有効な単元だと考える。

なお、本単元は、【話す・聞く】『「意見を交流しよう」～保育園との交流計画を立てよう～』と【書く】「お礼状を書こう」で構成する。保育園児との交流を題材にしながら話し合い、実際に園児との交流を経験(総合的な学習の時間)後、礼状を書く活動をする。そのことにより、「話す・聞く」「書くこと」による伝え合いの力を育てる学習と連動させていく。

3 単元の目標

【関心・意欲・態度】

- 目的意識をもって進んで話し合いに参加しようとしている。

【話すこと・聞くこと】

- 自分の考えがよく伝わるように話したり、相手の意図を考えながら聞いたりすることができる。
- 相手の意図と自分の考えを比べながら聞き、相手の意見を受けて自分の考えを述べるこ

できる。

- 提案や他の意見を聞き、質問や意見、補足によって話し合いを深めることができる。

【書く】

- 相手や目的に合わせて、礼状を書くことができる。

4 展開の構想

(1) 求める子ども像

〈高学年の目指す子ども像〉

自分の思いや考えを、筋道を立てたりどのような言葉や手段で表現するのがふさわしいかを判断したりしながら、分かりやすくまとめ進んで伝え合う子ども

これを受けて本単元では、

「保育園との交流計画を立てよう」という目的のもと、どんな交流をしたいか自分なりの考えをもち、相手にわかりやすく話したり、相手の意見を受けて自分の考えを述べたりすることのできる子ども

を、求める子ども像として設定した。

(2) 求める子ども像にせまる手立て

①意欲的に話し合うための手立て

ア、魅力的な題材の設定

子どもたちが意欲的に話し合いに参加できるように、「保育園児との交流」を題材とする。5年生は、優しく、人の役に立つことが好きな子どもたちなので、「来春入学予定の子どもたちのために」という目的があれば、はりきって交流計画を立てるものと思われる。事前に1度保育園を訪問して年長児と自由に遊ぶ時間を設定し、交流計画を立てる際には具体的に園児の顔を思い浮かべながら話し合いを進められるようにする。また、保育園側にこちらの学習内容を説明して協力を求め、入田園長先生の依頼の手紙（「5年生と遊んで、年長園児は大変喜んだ。ぜひまた交流してほしい。来年1年生となる園児が安心して入学できるように、来年6年生となる皆さんの力を貸してほしい。」というような内容）から年長園児との交流会を計画するという展開を構想し、子どもたちが計画を立てるための動機付けを確かなものにしたい。

なお、交流会は学期1回ずつ行うこととし、その都度話し合いをもとに計画を練り上げる学習経験を積ませ、子どもたちの話し合いの力が高まるように繰り返し指導する。今回の話し合いは、その1回目の学習活動として位置づける。

イ、アイデアシートをもとにした班構成の工夫

交流のアイデアをたくさん出し、その中から自分が最もやりたい内容を絞り込んでいけるように、アイデアシートを用いる。まず、一人一人が思いつく限りのアイデアをシートに書き出し、その中から自分が最もやりたいものに◎、2番目に○をつけることとする。教師はこれを元に、似た意見の者同士を集めて「鬼ごっこ班」「発表班」「ゲーム・プレゼント班」などの班を構成する。この班で、具体的にどんなことをしたいかを話し合い、クラスに提案するとともに、実際の交流場面でも中心となって準備・運営を行うという展開とする。これにより話し合いへも主体的に参加できるようにする。

②計画的に話し合うための手立て

ア、教材文「地域との交流計画を立てよう」での学習

実際の話し合いを始める前に、教科書教材「地域との交流計画を立てよう」を用いて、話し合いの進め方を学習する。そこで、「①班で話し合って提案をまとめる。②各班の提案をもとにクラス全体で話し合って交流計画を立てる。」という話し合いの流れを確認する。また、提案の仕方や、司会の役割を学習するとともに、相手の意見に関わらせた発言が話し合いを深めることに気づかせる。よりよい提案（計画）作りのためには、友達

の意見に関わらせた発言が欠かせないことを確認する。そこから、今回の話し合いでは「友達の意見に関わらせて話す」こと、そのために「友達の意見と自分の考えを比べながら聞く」ことが学習課題であることを、子どもたちに意識付けていく。

イ、司会原稿の提示

司会進行の原稿を用意し、それに沿って進めることで、子どもがスムーズに話し合えるようにする。なお、班での話し合いとクラス全体での話し合いは同じ進行の形にし、子どもたちを「提案→意見交流→まとめ」という進め方に慣れさせ、計画的に見通しをもって話し合えるようにする。

③基本的な話し方を身に付けるための手立て

ア、基本話型の提示

提案の基本話型

私（○班）の提案は△△△です。～からです。（理由）例えば、～などです。（例示）

話し合いの基本話型

- ・提案→「～がいいと思います。理由は～です。」（提案に対する理由付け）
→「～がいいと思います。例えば～などです。」（提案に対する例示）
- ・意見→「Aさんの意見に賛成（反対）です。理由は～です。」（立場を明確にする）
- ・質問→「Bさんに質問です。～ですか？」（よく聞き不明な点などを質問する。）

イ、振り返りシートの活用

話し合いの後で、振り返りシートを用いて自分の【話し方・聞き方】をめあてに照らして振り返る時間を設ける。シートの項目によって、【話す・聞く】学習スキルを、子どもたちに意識付け、そこででの反省を次の話し合いに生かせるようにする。

④自分の考えを明確にもつための手立て

ア、提案シートの活用

具体的にどんなことをしたいか自分なりの考えをもつために、班での話し合いの前に「書く」活動を取り入れる。提案シートは、まず結論（自分の提案）を書いてから理由を書き込む形式にする。これをもとに話し合いに臨むことで、子どもたちが「はじめに自分の考え（結論）を言う。」「理由を挙げて話す。」という学習スキルを達成することができるようにする。

イ、聞き取りメモの活用

友達の提案（各班の提案）を自分の考えと比べながら聞き、それに対する自分の考えをもてるように、聞き取りメモを活用する。メモの項目は、「提案、賛成・反対のチェックとその理由、質問、付け足し（とその理由や例）」とする。このうち、よりよい交流内容にするためには、『質問』と『付け足し』の項目が特に重要であることを、教材文での学習を振り返りながら確認する。この欄に自分の考えをしっかりと書き込み発言することで、子どもたちが友達の提案に関わった発言ができるように指導する。なお、メモをもとに発言する際には、発言がメモを読み上げる形にならないように指導する。

5 指導計画 (全7時間)

次	時	○学習活動	・教師の働きかけ	◎評価規準
(総合) 保育園訪問	1	○保育園を訪問し、年長園児と遊ぶ。		
	2	○入田園長先生からの手紙を読み、保育園交流への意欲を高める。 ○どんな交流をしたいか、思いつく限りのアイデアをシートに書き出し、自分が最もやりたいものに◎、2番目に○をつけて、その理由を書く。	・保育園に学習内容を説明し、入田園長先生からの依頼という形で交流計画を立てるための学習がスタートするようにする。 ・アイデアシートを元に、似た意見の者同士を集めて班構成する。	◎保育園との交流計画を立てることに意欲を持つことができたか。(態度・感想)
1次 (国語)	1	国語「地域との交流計画を立てよう」を読み、話し合いの進め方を学習する。 ・話し合いの流れ ・提案の仕方 ・司会の役割 ・相手に関わらせた発言(質問・意見)の重要性	・話し合いの流れ、提案の仕方、司会や書記の役割をつかませる。 ・よりよい計画を立てるためには友達の意見に関わらせた発言が重要であることに気づかせ、学習課題を意識づける。	◎話し合いの流れや提案の仕方などを理解することができたか。(表情・うなずき)
	2			
2次 (国語)	3	○班で話し合って提案する内容を決める。	・話し合いの前に、提案シートに自分の考えを書かせる。 ・司会の原稿を用意する。 ・提案の基本話型、話し合いの基本話型を提示する。 ・友達に関わらせた発言を奨励する。 ・話し合いの終わりに振り返りシートで振り返らせる。	◎まず自分の提案(結論)を言い、その理由を挙げて分かりやすく話すことができたか。(発言) ◎友達の意見に関わらせて発言することができたか。(発言)
	4	○班ごとに提案の準備をし、提案発表練習をする。	・提案の基本話型を提示する。	◎まず班の提案(結論)を言い、その理由を挙げて分かりやすく話すことができたか。(提案発表練習)

	5 本時	○各班の提案をもとにクラス全体で話し合い、7月の交流内容についての話し合いを深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・司会の原稿を用意する。 ・聞き取りメモを用意し、各班の提案を自分の考えと比べながら聞き、それに対する自分の考えを書き込めるようにする。 ・友達に関わらせた発言を奨励する。 ・話し合いの終りに振り返りシートで振り返らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎聞き手に分かりやすい提案をすることができたか。(発表) ◎各班の提案を自分の考えと比べながら聞き、それに対する意見をもつことができたか。(聞き取りメモ) ◎聞き手に分かりやすく話すことができたか。(発言) ◎友達の見解に関わらせて発言することができたか。(発言)
	6	○前時に話し合ったことを各班に持ち帰り、班で話し合って計画を完成させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・友達に関わらせた発言を奨励する。 ・話し合いの終りに振り返りシートで振り返らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎聞き手に分かりやすく話すことができたか。(発言) ◎友達の見解に関わらせて発言することができたか。(発言)
〈総合〉 保育園訪問	3	○班ごとに、交流会の準備をする。		
	4	○クラス全体で、交流会の準備・練習をする。		
	5	○保育園を訪問し、年長園児との交流会をする。		
3次〈国語〉	7	○礼状を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書教材「お礼状を書こう」を用いて礼状の書き方を指導する。 	◎礼状としての内容と形式を備えた文章を書くことができる。

6 本時の展開（5／7）

（1）ねらい

各班の提案をもとにクラス全体で話し合うことを通して、提案に対する自分の考えを理由を挙げながら分かりやすく話したり、友達の意見を受けて自分の考えを述べたりすることができる。

（2）展開

前時までに、子どもたちは「保育園との交流会」ではどんなことをしたいか自分なりに考え、似た意見の者同士で話し合っ班の提案を決め、提案の準備をしている。

本時では、まず各班の代表が提案する。この際、進んで発言することが苦手な子どもを提案者として意図的に指名し、大勢の前で話すことに慣れさせるとともに、話すことへの自信につなげたい。子どもたちには、当日誰が提案者として指名されるか分からないことを伝えてあり、前時のうちに班の全員が提案の話型カードをもとに提案発表の練習をしている。

1つの班の提案が終わる毎に、聞き手は聞き取りメモに自分の考えをメモする。メモの内容は、「賛成・反対とその理由」、「質問」、「付け足し（とその理由や例）」とする。「付け足し」とは、「こんなふうにしたらもっとよくなる。」というアイデアであり、班の提案内容を膨らませるためのアイデアである。ここに考えをしっかりと書き、それを出し合うことによって交流内容がより充実したものになることを、導入の段階で説明しておく。その際、子どもたちがアイデアを考えて「書く」時間を確保する。

全ての班の提案が終わり、メモに書き込んだら、話し合いを行う。自分の考えを分かりやすく話せるように、話し合いの基本話型を掲示するとともに、必要に応じて振り返らせる。また、まず結論を述べ、理由を挙げながら話したり、「例えば」を使って例示したりした場合には、その発言を取り上げて褒め、子どもたちの意識が【話す・聞く】スキルに向かうようにする。さらに、1つの意見が出たら、司会者に「他に〇〇に関わった意見はありませんか。」と問わせたり、挙手の際にハンドサインを用いさせたりすることにより、子どもたちの意見につながりが生まれるようにしたい。この中で、自分の考えを理由を挙げながら分かりやすく話したり、友達の意見を受けて自分の考えを述べたりする子どもたちの姿を目指す。なお、A子のメモ内容は、机間指導の際に座席表にメモしておき、発言できそうな流れになったら指名できるようにしておく。

話し合いの終りには、本時の話し合いをもとに、再び班で話し合っ7月の交流計画を完成させることを伝えるとともに、みんなで話し合う中でよりよいアイデアが出て話し合いが深まったことを褒め、話し合いの充実感を次への意欲につなげたい。

最後に、振り返りカードで自分の【話し方・聞き方】をめあてに照らして振り返り、次の話し合いに生かせるようにする。

本時

	学習活動と児童の意識の流れ	・教師の働きかけ ◎評価規準
7	<p>○園長先生のお話を聞き、話し合いへの意欲を高める。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>〈7月の交流会〉 7月10日(火) 9:45~10:45</p> <p>◎5年生のみなさんがどんなことを楽しませてくれるのか、年長園児たちはとても楽しみにしています。保育園の子どもたちにもわかりやすく、どの子どもも楽しめるような内容になるといいですね。</p> </div> <p>○班からの提案をもとにアイデアを出し合って「7月の交流計画の内容をよりよくする」という話し合いの目的と、よりよくするための視点が「園児にも分かりやすくどの子どもも楽しめる内容」であることを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 園長先生から訪問日時を話していただくことで、子どもたちの意欲が高まるようにする。 園長先生のお話の中に「園児にも分かりやすく、どの子どもも楽しめる内容」というよりよくするための視点を入れ、子どもたちに意識付ける。 聞き取りメモを配布し、その書き方の説明をもとに本時の話し合いの目的を説明する。 内容をよりよくするためには、特に「質問」「付け足しアイデア」の項目が重要であることを確認する。 <p>◎話し合いの目的を理解し、話し合いへの意欲をもつことができる。(うなずき、表情)</p>
35	<p>○司会の進行にしたがって、話し合いを進める。</p> <p>①発表班から順に提案し、聞き手は「聞き取りメモ」に自分の考えをメモする。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>〈発表班〉 ペープサート劇</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>〈スポーツ班〉 キックベース</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>〈学校班〉 オリエンテーリング</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>メモ項目</p> <ul style="list-style-type: none"> 賛成・反対のチェックとその理由 質問 意見・付け足しアイデア </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>ペープサート劇 (賛成)</p> <p>理由 おもしろい劇なら、園児さんも喜ぶだろうから。</p> <p>付け足し 学校のことを紹介する劇がいい。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>キックベース (反対)</p> <p>理由 園児さんには難しすぎるから。</p> <p>質問 園児さんが上手に蹴られなかったらどうするの？</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 20%;"> <p>オリエンテーリング (賛成)</p> <p>理由 学校のことを知ってほしいから。</p> <p>質問 チェックポイントはどこにするのか？</p> </div> </div> <p>②話し合う。(発表班の提案に対する話し合いから順に行う。)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>〈発表班の提案に対して〉</p> <p>付け足して、劇の内容は、学校のことを紹介するようなものだと思います。せっかく学校に来てもらったんだから、学校のことを知ってほしいからです。</p> <p>Bさんに付け足して、学校で気をつけることを劇にしたらいいと思います。例えば、階段を走って転んで怪我をした様子を劇にして、「らいおん組さんも気をつけようね」と呼びかけるのはどうですか</p> <p>私はCさんに反対で、気をつけることよりも楽しいことを劇にしたらいいと思います。その方が入学が楽しみになると思うからです。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>〈スポーツ班の提案に対して〉</p> <p>キックベースに反対です。園児さんには難しすぎると思うからです。</p> <p>ぼくも反対です。ボール遊びが苦手な子でも楽しめるような簡単なスポーツの方がいいと思うからです。</p> <p>ぼくは、もっとルールを工夫すれば、キックベースもできるんじゃないかと思います。例えば、守りは5年生がやることにして、年長さんはボールを蹴ったり走ったりするだけというのはどうですか？</p> <p>Dさんに賛成です。年長さんはボール遊びが大好きだから、ルールを簡単にしてキックベースをやりたいです。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>〈学校班の提案に対して〉</p> <p>学校班に質問です。チェックポイントはどこにするんですか？</p> <p>(回答) 理科室や音楽室などです。理科の実験道具や特別な楽器を見せたいからです。でも、全部は決まっていないので、いいアイデアがあったら出してください。</p> <p>1年生の教室を見せたらいいと思います。来年、自分たちが勉強するところだと思ったら、入学するのが楽しみになるだろうからです。</p> <p>でも、1年生の授業中だったら、どうするんですか？</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 提案の基本話型を掲示しておき、必要に応じて振り返らせる。 自分から発言することが苦手な子どもを意図的に提案者として指名し、人前で話す経験を積ませて自信につなげる。 司会者には司会原稿を活用させる。 <p>(提案者)</p> <p>◎まず結論(班の提案)を述べ、理由を挙げながら分かりやすく提案することができる。(発表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 机間指導して、個々の考えを座席表にメモする。 <p>(聞き手)</p> <p>◎自分の考えと比べながら各班の提案を聞き、それに対する自分の考えをメモすることができる。(聞き取りメモ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し合いの基本話型を掲示しておき、必要に応じて振り返らせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>話し合いの基本話型</p> <ul style="list-style-type: none"> 意見→○○に賛成(反対)です。～からです。(理由) 付け足し→○○に付け足して、～がいいと思います。～からです。(理由) ○○に付け足して、～がいいと思います。例えば～はどうですか。(例示) 質問→○○に質問です。～ですか？ </div> <ul style="list-style-type: none"> 質問されたことについて考え中であれば、「何かいいアイデアはありませんか？」とみんなに問い返させる。 ハンドサインを用いさせ、意見のつながりが生まれるようにする。 理由を挙げた分かりやすい発言や、友達の意見に関わった発言をほめる。 それぞれの班の提案に対する意見が分かりやすいように、板書を工夫する。 <p>◎始めに結論を言い、理由を挙げながら分かりやすく話すことができる。</p> <p>◎友達の意見を受けて、自分の考えを話すことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなで話し合う中で、よりよいアイデアが出て、話し合いが深まったことをほめる。
3	<p>○振り返りシートで、自分の【話し方・聞き方】を振り返る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>理由を挙げながら話すことができたよ。付け足しアイデアもできてよかったよ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>みんなの前で提案できたり、自分から進んで手を挙げられたからよかったな。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>友達の提案に付け足しアイデアができてよかったな。友達の話も、うなずきながら聞いたよ。</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> シートの項目によって、相手に分かりやすく話すこと、相手の意見と自分の考えを比べながら聞くこと、友達の意見に関わらせた発言をすることを意識付け、次の話し合いに生かせるようにする。 <p>◎めあてに照らして自分の【話し方・聞き方】を振り返ることができる。(振り返りシート)</p>

7 授業の実際と考察

求める子ども像にせまる手立ての有効性について、授業を振り返り考察を行う。

①意欲的に話し合うための手立て

ア 魅力的な題材の設定

本単元では、「保育園との交流」を話し合いの題材とした。子どもたちは、最初の保育園訪問からとても喜び、帰校するとすぐに「また行きたい！」とロクに言う程だった。その後は「園児さんを喜ばせたい。」という思いを強く持ち続け、話し合いにも意欲的に臨んだ。また、園長先生からの依頼の手紙で交流会計画をスタートさせたことは、子どもたちの話し合いに対する確かな動機付けとなった。

とりわけ、抽出児のA子は、最初の訪問で園児に慕われた喜びが意欲につながり、自分なりの考えをしっかりとって進んで発言することができた。また、S男は、「園児さんに初めての体験（キックベース）をさせたい！」という強い願いをもち、自分なりの理由付けをしながら積極的に発言を重ねることができた。

このように、「保育園との交流」という題材は、意欲的に話し合うための手立てとしてとても有効だった。

イ アイディアシートをもとにした班構成の工夫

やりたい内容が似ている者同士で班を構成し、班ごとに提案内容を決めてクラスに提案したことや、実際の交流会でも中心となって準備、運営に携わったことにより、一人一人の立場と責任の所在が明確になった。このため、一人一人が話し合いにも主体的に参加することができた。



②計画的に話し合うための手立て

ア 教材文「地域との交流計画を立てよう」での学習

教材文での学習により、話し合いの流れや提案の仕方、司会の役割などをつかませることができた。また、教材文をもとに話し合いを深める意見について全体で考察したことで、「友達の意見に関わらせて話す」ことや、そのために「友達の意見を自分の考えと比べながら聞く」ことが学習課題であることを、子どもたちに意識付けることができた。子どもたちには「よりよい交流会を実現させるため」という目的があったため、教材文を用いての学習にも意欲的に取り組むことができた。

イ 司会原稿の提示

司会進行の原稿を全員に提示したことで、話し合いの流れについては全員が確認することができた。しかし、実際の意見交流の場面では、司会者は原稿から離れて自分の考えで話し合いを進めていく必要が生じ、特別な司会指導をしない限りは、実質的には教師が進行する形となった。本時では、話す能力の高い子どもに司会を任せましたが、特別な司会指導をしなかったこともあり、後半は教師が進行させたため、十分な活躍の場を与えられなかった。これらのことを踏まえて、その時間なりのねらいに即して司会役として適当な子ども（司会の立場で力を発揮できる子ども）を選んでいく必要があると感じた。

③基本的な話し方を身に付けるための手立て

ア 基本話型の提示

基本話型を提示したことにより、「初めに結論を言い理由を付け加える」という学習スキルを全員が達成することができた。また、「例えば」を使って例を示しながら自分の考えを述べることのできる子どもも出てきた。

イ 振り返りシートの活用

子どもたちの現状から課題を絞り出し、話し方（7つ）聞き方（2つ）のチェック項目を設定して、自分の話し方・聞き方を具体的に振り返らせた。子どもたちは、自分の足りない点を明らかにして次回のめあてを具体的に立てることができた。しかし、自己評価は基準があいまいで、評価の甘い子と辛い子に差が生じた。評価の甘い子については、その子なりの課題が明確になるようなアドバイスが、辛い子については、よくできた点を見取ってほめたり励ましたりする支援が必要であると感じた。

④自分の考えを明確にもつための手立て

ア 提案シート

イ 聞き取りメモ

話し合いの前に、これらのワークシートに自分の考えを書かせたことで、一人一人が自分の意見をしっかりと発言することができた。また、「理由を2つ以上挙げる」という学習スキルを達成できた子どもも多かった。話し合いの前に「書く」活動を取り入れたことは、学習スキルの獲得や積極的に話し合いに参加するために、大変有効だった。

発表班	スポーツ班	学校班
【提案】 ペーパーサート劇	【提案】 キックベース	【提案】 オリエンテーリング
【自分の考え】 <input type="checkbox"/> 賛成 <input type="checkbox"/> 反対 理由(～から) 劇は、ややくしくはねければ、とても面白い物になるからです。	【自分の考え】 <input type="checkbox"/> 賛成 <input type="checkbox"/> 反対 理由(～から) ... 園児は、ボールのようなものはあきてると思うので、キックベースは良いと思う。	【自分の考え】 <input checked="" type="checkbox"/> 賛成 <input type="checkbox"/> 反対 理由(～から) 園児さんが学校のことをよく知っている、入学が楽しくなるのではないかと。
質問 きくはどくなのを流すか	質問(と思う) 保育園児と五年の子の差はどうなるか。	質問
意見・付け足しアイデア きくは保育園見に分かりやすいきくか良いと思う。 劇は、プーさんのようななごやかな感じの面白い、そんなのは言葉もゆくりで分かりやすい、おっつうのぼる。	意見・付け足しアイデア 投げるのは左(五年)打つのも左 ピッチャーは園児に決めるのはかたき、かいいと思う。	意見・付け足しアイデア シールは、家庭科、理科ね。で1,2年で使わない学煙はめがした方が、いい思います。各学年の教室は例外。

8 成果と課題

○保育園児との交流という題材は、話し合いに対する意欲を高める上で大変有効だった。どの子ども、「自分たちが最上級生となる年に入学する子どもたちの役に立ちたい」という強い願いをもって取り組んだ。また、学習を園長先生からの依頼でスタートさせたことで、話し合いに臨むための動機付けもしっかりとできた。子どもたちは、最上級生となる期待感を高めつつ、話し合いを含めた諸活動に意欲的に取り組んでいた。

○学習スキルや基本話型の提示がわかりやすく、どの子もそれらを生かして意見を述べることができた。また、それらを元に作成した振り返りシートにより、自分の話し方・聞き方を具体的に振り返り次時の課題を明確にすることができた。学習スキル等の提示は子どもたちの表現力を高める上で大変有効だった。

△本時では、初めの教師の説明が長過ぎ、話し合いの時間を削ってしまった。また、各班への質問から話し合いに入ったことで、話題が中心に到達するまでに時間がかかり、中心点の話し合いに十分な時間がかけられなかった。効率的に話し合うためには、ねらいからずれた部分は削り、話し合いたい中心点から入っていけるように45分を組み立てる必要があった。

△自分の考えを「書く」時間を十分に確保しそれがよい発言につながったが、話し合いの時間を十分に確保するためにも、今後はより速くメモする力を付けていく必要がある。マークなども使い、キーワードや要点のみをメモしていけるように指導していく。また、聞いたことを書き留める「メモ」の取り方の指導や、練習を積み重ねていく。話し合いの途中でも、必要に応じて友達の発言や自分の考えをメモできるような力を付けていきたい。

